
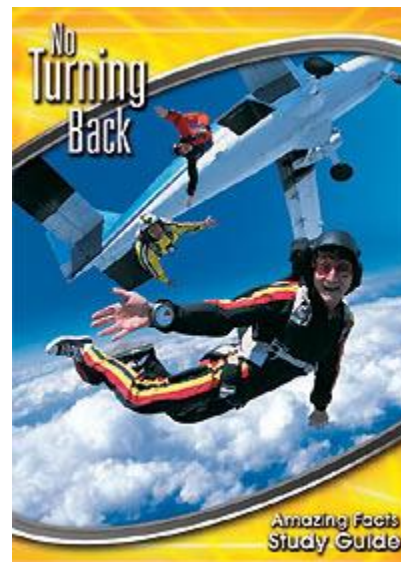


27. もはや後戻りできない。

このページのプリント 

スカイダイバーが航空機のドアの端に立ち、それから外に飛び出すならば、もう後戻りすることはできないことを彼は知っています。もしパラシュートをつけ忘れてしまったなら、彼の命を救うものは何もなく、真逆さまに落ちて確実に恐ろしい死に直面することでしょう。何という悲劇でしょうか！ところが、これよりも恐ろしいことが人々に起こる可能性があるのです。いえそれどころか、あなたの神との関係において、後戻りできないことになってしまうならば、それははるかに恐ろしいことです。しかしながら、何百万という人々がこの後戻りできない時点にさしかかっているが、そのことをまったく知らず考えてもいません！あなたがその中のひとりであるということがありうるでしょうか？このような最悪の結果を招いてしまいかねない恐ろしい罪とはどのようなものなのでしょう？なぜ神はその罪をおゆるしになることができないのでしょうか？明確かつ真相を究めており、それでいて希望に満ちた答を知るために、少しの時間、この興味深い聖書講座で学んでください。



1. 神がおゆるしになることができない罪とは何ですか？

「すべての罪、そして、冒瀆は、人々に対してゆるされるであろう。しかし、聖霊に対する冒瀆は、人々に対してゆるされないであろう。」マタイによる福音書 12:31（欽定訳聖書）

答え： 神がおゆるしになることができない罪は、「聖霊に対する冒瀆（欽定訳）、聖霊を汚す（口語訳）」です。では「聖霊に対する冒瀆」とはどのようなことでしょうか？この罪について人々は、多くの異なった信条を持っています。ある人々はそれは殺人であると言い、ほかの人は聖霊を呪うことであると言います。またある人は自殺や胎児の命を奪うことであると言い、また、キリストを拒むこと、極悪非道な行為、偽りの神を礼拝することであるとも言います。次の質問では、このきわめて重要な事柄の一部が明らかになります。

2. 罪と冒瀆について聖書は何と述べていますか？

「人には、その犯すすべての罪も神を汚す言葉（冒瀆—欽定訳）も、ゆるされる。」マタイによる福音書 12:31

答え： すべての種類の罪、そして冒瀆はゆるされると聖書ははっきり述べています。ですから、前回の質問の答えにあげられていた罪は、どれも神がおゆるしになることができない罪ではありません。いかなる行為であっても、ゆるされない罪ではありません。

二つの言明は相反しているように思える

たしかに矛盾しているように聞こえるのですが、下記の言明は両方正しいのです：

- A. どのような罪、冒瀆もすべてゆるされる。
- B. 聖霊に対する罪、冒瀆はゆるされない。

イエスがこれらの二つのことを述べられました。

マタイによる福音書 12:31 で、イエスは上記の二つの言明をされています、ですからこれらのことは間違いではありません。この二つが調和していることを確認するためにはまず、聖霊の働きがどのようなものであるかを知らなければなりません。



殺人は恐るべきことだが、神がおゆるしになることができない罪ではない。

3. 聖霊の働きは何ですか？

「それ〔聖霊〕が来たら、罪と義とさばきについて、世の人の目を開くであろう。」ヨハネによる福音書 16:8 「彼〔聖霊〕は、あなたをすべての真理に導くであろう。」ヨハネによる福音書 16:8, 13 (新欽定訳聖書*)

答え： 聖霊の働きは、私たちに罪を悟らせ、すべての真理に導くことです。聖霊は、私たちを回心に導く神の代理者です。聖霊の働きがないならばだれも罪を悲しむことも、回心することもできません。

*The Holy Bible, New King James Version, (C) 1979, 1980, 1982 by Thomas Nelson, Inc. Used by permission.



聖霊は聖書の真理に人々を導く。

4. 聖霊が私に罪を悟らせたならば、私はゆるされるためにどうするべきでしょうか？



神に告白するならば、どのような罪でもゆるされる。

「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」ヨハネの第一の手紙 1:9

答え： 聖霊によって罪を指摘されたならば、ゆるされるために自分の罪を告白しなければなりません。指摘された罪を告白すれば、神は私をゆるされるばかりでなく、すべての不義から神の奇跡で清めてくださいます。神は、私が犯した罪、それがどのようなものであれ、すべてをゆるそうと待っておられます (詩篇 86:5)。けれどもこのゆるしは、私が犯した罪を告白し、それから離れる場合に限られています。

5. 聖霊によって私の罪が示されたときに告白しないならばどうなるのでしょうか？

「その罪を隠す者は栄えることがない、言い表してこれを離れる者は、あわれみをうける。」箴言 28:13

答え： もし、私が自分の罪を告白しなければ、イエスはその罪をおゆるしになることができません。ですから、私が告白しない罪は、どのようなものであっても、それを告白するまではゆるされない罪になってしまいます、なぜならゆるしは、常に告白があってからなされるからです。罪の告白をする前にゆるしがなされることは決してありません。

聖霊に抵抗することは恐ろしい危険である

聖霊が罪を指摘しても、それに抵抗してしまうことは恐ろしい危険です。なぜなら、いとも簡単に聖霊を拒むという結果をもたらすからです。それは神が決しておゆるしになることのできない罪で、もう戻ることのできない地点に来てしまったということなのです。聖霊の働きのみが、人に罪を自覚させるので、もし聖霊を拒み続けるならば、やがてその人の状態は絶望的になってしまいます。この問題は非常に重要ですので、神は御言葉を通してさまざまな方法で例証し、説明しておられます。



罪を告白せず隠す者は、神から祝福されることはない。

6. 聖霊が私に罪の自覚を生じさせ、新しい真理がもたらされたならば、いつそれらに応じるべきでしょうか？

答え：聖書の答え：

- A. 「彼らはわたしの事を聞くと、ただちにわたしに従い」詩篇 18:44
- B. 「わたしはあなたの戒めを守るのに、すみやかで、ためらいません。」詩篇 119:60
- C. 「わたしは、恵みの時にあなたの願いを聞きいれ、救いの日にあなたを助けた。見よ、今は恵みの時、見よ、今は救の日である。」コリント人への第二の手紙 6:2
- D. 「そこで今、なんのためらうことがあるうか、すぐ立って、み名をと覚えてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い落としなさい。」使徒行伝 22:16

聖書は、罪の自覚が生じたならば、すぐにその罪を告白すべきことをくり返し述べています。また、新しい真理を学んだのであれば、すぐさまその真理を受け入れる必要があります。



聖霊によって罪の自覚が生じたならば、ただちに応答すべきである。

7. 悔い改めを促す聖霊の訴えについて、神はどのような厳粛な警告を与えておられますか？

「わたしの霊は、いつまでも、人と争わないであろう。」創世記 6:3 (欽定訳聖書)

答え：聖霊が、罪から離れ、神に従うようにいつまでも訴え続けることはないと言われ、神は厳粛に警告されています。



神はノアの時代の人々にだけでなく、今日生存している人々にも、神の聖霊は、人々に限りなく悔い改めを訴え続けることはないと言われている。

8. 聖霊が人に喚願することを止めるのは、どの地点においてですか？

「だから、彼らには譬で語るのである。それは彼らが、... 聞いても聞かず、」マタイによる福音書 13:13

答え：人が聖霊の声に耳を傾けなくなると、聖霊は語ることをやめます。聖書はそれを聞いていても、聞いていない状態であると説明しています。耳の聞こえない人の部屋に目覚まし時計のアラームをかけても意味がありません、なぜなら彼はそのアラームが聞こえないからです。同様に、目覚まし時計が何度鳴っても止めてしまえば起きることをしないならば、アラーム音が聞こえないように耳を慣らしてしまうことになるのです。そのうちに、アラームが鳴っても聞こえなくなる時が来ます。

聖霊の声に耳を閉ざさないようにしましょう。

聖霊も同じように私たちに働きかけることをやめるときが来ます。もし私たちが聖霊の声に耳を閉ざし続けるならば、聖霊が私に語っても、いつかは聖霊の声を拒絶する日が来ます。そのときには、聖霊は悲しみながら去って行きます、なぜなら聖霊の訴えに耳を閉ざしてしまったからです。それはもう戻ることのできない地点に来てしまったということなのです。聖霊の声に抵抗することに関するこの警告は、何と厳粛で衝撃的な言葉ではないでしょうか！



目覚まし時計のアラームで起きる代わりにそれを止めてしまうことは、それ以上アラームが聞こえないところに自分を置くことになる。同様に、聖霊を遠ざけてしまうことは、神の声に耳を傾けなくなることである。

9. 神は、聖霊を通してこの地上のすべての人々に、光をもたらす(ヨハネによる福音書 1:9)、義と罪とさばきについて明らかにされます(ヨハネによる福音書 16:8)。聖霊による光を受けたならば、私はどうするべきでしょうか？

「正しい者の道は、夜明けの光のようだ、いよいよ輝きを増して真昼となる。悪しき人の道は暗やみのようだ、彼らは何につまづかか知らないうちに。」箴言 4:18,19 「光がある間に歩いて、やみに追いつかれないようにしましょう。」ヨハネによる福音書 12:35

答え： 聖霊によって新しい光が与えられ、罪の自覚が生じたならば、躊躇せず、すぐに従うことが聖書が説く原則です。受けた光に従って歩むならば、神は光を与え続けてくださいます。もし光を拒むならば、私がすでに持っている光も失ってしまうことになり、暗闇の中に取り残されます。頑なに光を退け、最終的に光に従うことを拒否することによって来る暗闇は、聖霊を拒んだ結果であり、希望もなく取り残されてしまいます。



神の言葉によって新しい光を受けたならば躊躇せず、すぐに従うべきである。

10. どのような罪でも、聖霊に逆らう罪になりえるのでしょうか？

答え： どのような罪でも告白し、棄て去ることを頑なに拒み続けるならば、やがて聖霊の訴えに耳を閉ざしてしまい、戻ることでできない地点を越えてしまうことになるのです。聖書にあるいくつかの事例を見てみましょう：

A. ユダのゆるされることのない罪は貪欲でした（ヨハネによる福音書 12:6）。なぜでしょうか？神がその罪をゆるすことがおできにならなかったからでしょうか？ そうではなく、それがゆるされない罪になってしまったのは、ただユダが聖霊の声に耳を傾けず、貪欲の罪を告白することを拒んでしまったからなのです。そしてついにユダは、聖霊の声に耳を閉ざしてしまいました。

B. ルシファーのゆるされることのない罪は、プライドと自己高揚でした（イザヤ書 14:12-14）。神はこれらの罪をおゆるしにすることができます。ですからルシファーは、罪をゆるされ、清められることができたはずなのですが、彼は聖霊の声が聞こえなくなってしまうまで耳を傾けることを拒んでしまったのです。

C. パリサイ人たちのゆるされることのない罪は、イエスをメシアとして受け入れることを拒んだことでした（マルコによる福音書 3:22-30）。彼らは、イエスが天の生ける神の御子のメシアであるということ、何れも心の奥底で確信していたのです。けれども心を頑なにし、強情にもイエスを主なる救い主として受け入れることを拒んでしまいました。ついにパリサイ人たちは、聖霊の声に対して耳を閉ざすようになってしまったのです。そしてあるとき、イエスが偉大な奇跡を行ったのちに、パリサイ人たちは、イエスの奇跡の力は悪魔から受けているのだと民衆に告げました。キリストはそのときにすぐ、キリストの奇跡の力を悪魔からであると言うことは、彼らはもう戻ることのない地点に来てしまったこととしるしであり、聖霊を冒涇していると言われました。神は彼らを喜んでゆるすことがおできになったはずでした。けれども彼らは、聖霊の声を一切聞くことができなくなるまで拒み続け、これ以上聖霊が働きかけることができない地点に来てしまいました。



ユダは、貪欲の罪を告白し、それを棄て去ることを拒んだため、ゆるされない罪になってしまった。

結果は選ぶことができない

聖霊の呼びかけに対して、それに応じるか、または拒むかの選択をすることができますが、その選択の結果を選ぶことはできません。結果は定められているからです。もし絶えず聖霊に応答するのであれば、私たちはイエスに似た者となることができます。聖霊は私たちの額に神の子としてのしるしをつけてくださり（ヨハネの黙示録 7:2,3）、それによって、神の天の王国に私たちの住まいがあることを確信することができます。もしあくまでも聖霊に応答することを拒むのであれば、聖霊を悲しみのうちに離れさせ、そして聖霊は永久に去ってしまいます。それゆえに滅びは確実にになってしまうのです。これらは聖霊を軽んじ無視することへの厳粛な警告です！

11. ダビデ王が、姦淫と殺人という二重の恐るべき罪を犯したのちの彼の苦悶の祈りは、どのような祈りでしたか？

「わたしを御前から捨てないで下さい。あなたの聖なる霊をわたしから取らないで下さい。」詩篇 51:11

答え：ダビデ王は、彼から聖霊を取り去らないようにと神に懇願しました。どうしてでしょうか？もし聖霊がダビデから離れてしまうならば、その瞬間からすべての望みが絶たれることを知っていたからです。ダビデは、聖霊だけが彼を悔い改めに導き、再び立ち直らせてくださることを理解していたので、聖霊の声に対して聞く耳を持たなくなってしまったという思いに戦慄しました。聖書には、エフライムが偶像礼拝に加わり、聖霊の声に耳を傾けなかったために、ついに神はエフライムのなすがままに任せられた（ホセア書 4:17）と書かれています。エフライムは霊的にまったく耳が聞こえない状態になってしまいました。だれにでもおこりうる最大の悲劇は、神が人から顔を背けざるをえず、放っておかなければならない状態になってしまうことです。このようなことがあなたにおこるのを許してはなりません！



ダビデ王は、もし聖霊が彼から離れてしまうならば、滅びてしまうことを知っていた。それゆえに、聖霊を彼から取り去らないようにと神に懇願した。

12. パウロがテサロニケの教会に命じた重要、かつ重大なことはどのようなことでしたか？

「御霊を消してはいけない。」テサロニケ人への第一の手紙 5:19

答え：聖霊の訴えは、人の心の中で燃える火のようです。水が火を消してしまう効力があるように、罪も聖霊に対して同様の効力を持っています。聖霊の訴えをないがしろにして罪を犯し続けるならば、聖霊という火に水を注ぐことになるのです。パウロがテサロニケの人々に語った厳粛な言葉はまた、今日の私たちにも該当する言葉です。聖霊の声に耳を傾けることをくり返し拒むことによって、聖霊の火を消してしまわないようにしなければなりません。もし火が消えてしまったならば、もう戻ることのできない一線を越えてしまったことになるからです。

どのような罪でも火を消してしまう可能性がある。

告白して棄て去っていない罪はどのようなものであれ、最終的に聖霊の火を消してしまう可能性があります。それは、神の聖なる七日目安息日を守ることを怠る罪であるかもしれませんが、タバコを吸うことかもしれません。またはあなたを裏切り、傷つけた人をゆるすことができなかつたり、不道徳や、什一を献げないで保留してしまう罪かもしれません。どのようなものであっても聖霊の声に聞き従うことを拒絶することは、聖霊の火に水を注いでしまうことになるのです。聖霊の炎を消してはいけません。これ以上に悲劇的なことはありません。



罪は水のようなものである。罪を犯し続けるならば聖霊の火を消してしまう。

13. パウロはさらに、テサロニケの信者に、衝撃的で、信じがたいような言明をしましたが、それらはどのようなものでしたか？

「また、あらゆる不義の感わしとを、滅ぶべき者どもに対して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救となるべき真理に対する愛を受け入れなかった報いである。そこで神は、彼らが偽りを信じるように、感わす力を送り、こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばく【滅びる】のである。」テサロニケ人への第二の手紙 2:10-12

答え：何と強く衝撃的な言葉でしょうか！聖霊によってもたらされた真理と確信を受け入れることを退ける人は（聖霊が彼らを離れ去ったのちには）誤謬を真理であると信じてしまう強い感わしを受けてしまうのです。この厳粛な事柄を熟考すべきです！

14. 強い感わしを受けた人々は、裁きの日にどのような悲劇に直面することになるのでしょうか？

「その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ。』」マタイによる福音書 7:22,23

答え：「主よ、主よ」と呼ぶ人々にとって、自分たちは天への門を閉ざされてしまったということに、大きな驚きと衝撃を受けることでしょう。彼らは、自分たちは救われていると心から信じ確信していたからです。イエスは、彼らの人生において、聖霊が新しい真理と確信をもたらしたきわめて重要であったときのことをおそらく思い出させることでしょう。それは明白な真理でした。真理に従う決断をするために、夜も眠れぬほどの悩みと葛藤がありました。彼らの心のうちはどれほど燃え上がったことでしょうか！ けれども結局彼らは言いました、「その真理は受け入れない！」それからは聖霊のさらなる声を聞くことを拒みました。そののち、強い感傷が来て、実際、彼らは失われているにもかかわらず、救われていると思いついてしまいました。人がこれ以上の悲劇に遭うことがありえるでしょうか！



主に従うことを拒んだ多くの自称クリスチャンたちに、主は天への門を閉じられる。

15. 実際には失われている状態にありながら、自分は救われているという思い込みを免れるために、イエスが私たちに与えてくださった特別な警告の言葉は何ですか？

「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。」マタイによる福音書 7:21

答え：イエスは、救われていると確信を持っている人がすべて天国に入るのではなく、むしろ神の御心を行う人々が天国に入るのであるということを厳粛に警告されました。私たちは皆、救いの確証を持つことを望んでいます。これは神が備えてくださった思いです。しかしながら今日、罪を犯し続ける生活をし、ライフスタイル、そのほかのことに何も変化が見られないにもかかわらず、救いの保障を与えてしまうような偽りの救いの確証がキリスト教を風靡しています。



神に従わない「救いの確証」は偽りの確証であり、多くの人々を滅びに導く。

牧師たちに対する危機感

著名な教会の指導者たちに対して、ますます多くの危機感が募ります。それは、多くの教会には、「救いの確証」を持っていると言いつつ、イエス・キリストによる新生の経験もなく、神に従うこともしないような人々に満ち溢れているからです。

イエスはすべての誤解を一掃される

本当の救いの確証は、神の御心を行う人々だけに与えられるものであるとイエスは言われました。イエスを私の人生における主、導き手として受け入れるときに、私の生き方は根本的に変わります。私はまったく新しく造られた者になるのです（コリント人への第二の手紙 5:17）。私は喜んで神の戒めを守り、主の御心を行い（ヨハネによる福音書 14:15）、神が導かれるところであればどこでも喜んで従います（ペテロの第一の手紙 2:21）。神のすばらしい復活の力（ピリピ人への手紙 3:10）は、私を神の御姿に変えます（コリント人への第二の手紙 3:18）。神の大いなる平安が私の人生に満ち溢れます（ヨハネによる福音書 14:27）。御霊を通してイエスが私の心に宿る（エペソ人への手紙 3:16,17）ので、私は「何事でもすることができ」（ピリピ人への手紙 4:13）、「できない事は、何もない」のです（マタイによる福音書 17:20）。

途方もなくすばらしい真の救いの確証に対する偽りの確証

救い主の導かれるところに従っていくならば、だれも神のみ手から私たちを奪い去ることはできないと神は約束してくださり（ヨハネによる福音書 10:28）、そして、命の冠を与えてくださいます（ヨハネの黙示録 2:10）。イエスに従う人々には、このような驚くべき、栄えある本物の保障を与えてくださるのです！ これ以外の条件のもとで約束される救いの確証は偽りです。それは、人々が、実際には失われているにもかかわらず、自分たちは確かに救われていると思いついて天の法廷に出廷することになってしまうのです（箴言 16:25）。

16. 主なる神を第一として生きる忠実な信徒たちに与えられる祝福の約束とは何ですか？

「そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。」 「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起こさせ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされる場所だからである。」ピリピ人への手紙 1:6;2:13

答え： 神を褒め称えましょう！イエスを人生における主、そして導き手とする人々は、神の永遠の王国に、まちがいに導かれるという奇跡を約束されています。これ以上に素晴らしいことがあるでしょうか！



イエスを人生の導き手とするならば、神は、神の王国に私を救ってくださることを約束される。

17. イエスが、私たちすべてに与えてくださる、さらなる、素晴らしい約束とはどのようなものですか？

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」ヨハネの黙示録 3:20



イエスに心の扉を開くならば、イエスは私の人生に介入して下さる。

答え： イエスに心の扉を開くならば、私たちの人生に介入して下さると約束して下さっています。イエスは聖霊を通して、あなたや、私の心の扉をノックしておられます。王の王、世界の救い主であられ、また宇宙の指揮官であられるイエスが、いつも私やあなたに、愛と、優しさで慈しみ深い勧告を与えてくださるために、わざわざ訪問して下さるのです。イエスとの暖かく愛に満ちた永遠に続く友情を築くことに対して、多忙で無関心であるということは、あまりにも愚かで、信じ難い悲劇ではないでしょうか。イエスの親密な友は、裁きの日に不合格にされるという危険はありません。そしてイエスが個人的に彼らを王国に歓迎して下さいます（マタイによる福音書 25:34）。

18. イエスがあなたの心の扉をノックされるときにはいつでもドアを開き、イエスが導かれるところはどこであっても喜んで従っていく決心をなさいますか？

別れの言葉

今回の聖書の学びは、27 課からなる聖書講座の最終のものです。これらの学びで、あなたがイエスの御臨在の前に導かれ、イエスとの素晴らしい、新しい関係を経験して下さったことと思っています。あなたが毎日に主の傍らに留まり、やがてイエスがおおいになるときに、祝福の王国に移される喜びに満ちたグループの仲間入りができますように願っています。もし私たちがこの地上でお会いすることがないのであれば、大いなる御再臨の日に、空中の雲の中でお会いしましょう。



キリストが来臨される日に、雲の中でキリストにお会いする人々の喜びに満ちたグループの一員となるように心づもりをしていよう。

答え：

- はい
 いいえ

質問

1. 聖書に、神はバロの心をかたくなにされたと記されていますが（出エジプト記 9:12）、それは不公平ではないですか？この聖句はどのような意味なのでしょう？
出エジプト記 9:12

太陽がすべての人、すべてのものの上に輝いているように、聖霊もすべての人に、ご自身の声に耳を傾けるように熱心に訴えておられます（ヨハネによる福音書 1:9）。太陽が照りつけると粘土を硬くしますが、同じ太陽はまた、ワックスを溶かすこともします。聖霊も同じように、私たちが聖霊の訴えにどのように応じるかによって、私たちの心に異なった影響を及ぼすのです。もし私が聖霊の声に耳を傾けるならば、心はやわらかくされ、完全に変えられた人になるでしょう（サムエル記上 10:6）。もし聖霊を拒むのであれば、心はかたくなになってしまうのです（ゼカリヤ書 7:12）。

パロの応答

パロは、聖霊を退けてしまうことによって、実際に自分の心をかたくなにしてしまいました（出エジプト記 8:15,32;9:34）。けれども聖霊はまた、神がパロの心をかたくなにしたと述べていますが、それは聖霊がパロに懇願し続けたからなのです。パロは聖霊を拒否し続けたために、太陽が粘土を硬くするようにパロの心もかたくなになってしまいました。パロが聖霊の声に耳を傾けていたならば、太陽がワックスをやわらかくするように、心がやわらかくなっていたことでしょう。

ユダとペテロ

キリストの弟子であったユダとペテロは、この同じ原則の実例であると言えます。両者ともに、恐るべき罪を犯しました。一人はイエスを裏切り、もう一人は否認しました。どちらの罪が重いのですか？それをだれが見分けられますか？あわれみ深い聖霊は、二人に熱心に悔い改めを訴えました。ユダは断固として聖霊に応答することを拒み、心は石のように固くなってしまいました。それに対してペテロは、聖霊の訴えを受け入れ、心がやわらかくされたのです。彼は心から悔い改め、のちに使徒時代の教会の、最も偉大な伝道者の一人になりました。聖霊の熱心に訴えに耳を傾けず、従わないことによって心をかたくなにしてしまうことに関して、ゼカリヤ書 7:12,13 に神の厳粛な警告が書かれています。どうぞお読みください。

2. 主に「しるし」を与えて下さいと願うことをどう思いますか？

マタイによる福音書 12:39

新約聖書において、イエスはしるしを求めることに対して明確に反対しておられます。マタイによる福音書 12:39 において、「邪悪で不義な時代は、しるしを求める」と言われました。イエスはその当時入手でき、使われていた旧約聖書から真理を教え、旧約聖書を真理の土台とされていました。彼らはイエスの語っておられることはすべて十分過ぎるほど理解していました。また彼らはイエスの奇跡も目撃していましたが、それでもイエスを拒みました。のちにイエスは言われました「もし彼らがモーセと預言者たちに耳を傾けないなら、死人の中からよみがえってくる者があっても、彼らはその勧めを聞き入れはしないであろう」ルカによる福音書 16:31。聖書にはすべてのものを御言葉によって試しなさいと書かれています（イザヤ書 8:19,20）。もし私たちがイエスの御心を行うことに献身し、イエスが導かれるところはどこであっても従っていくのであれば、イエスは私たちが真理から誤謬を識別できるように助けてくださることを約束してくださっています（ヨハネによる福音書 7:17）。

3. 祈りが何の助けにもならないというような時がありますか？

詩篇 66:18

神に故意に従わずにしながら（詩篇 66:18）、祝福を求める（神に服従する気持ちもなく）祈りは価値がないばかりか、憎まれる祈りであると神は言うておられます（箴言 28:9）。

4. 私はもしかして聖霊を拒んでいて、ゆるされないかもしれないと憂慮しています。何か助言をいただけますか？

ヨハネによる福音書 16:13

あなたは聖霊を拒んではいません。なぜならそれについて懸念しており、罪の自覚を持っているからです。聖霊だけがあなたに懸念を抱かせたり、罪の自覚をもたらすことができるからです（ヨハネによる福音書 16:8-13）。もし聖霊があなたを去ったならば、心の中で心配して思い悩んだり、罪を悟ることなどありません。喜んで神を賛美しましょう！そしてあなたの人生を今、神におさげしましょう！そしてこれから先、祈りつつ神に従い、服従の道を歩みましょう。神はあなたに勝利を与えてくださり（コリント人への第一の手紙 15:57）、あなたを支え（ピリピ人への手紙 2:13）、主の御再臨のときまで守ってくださいます（ピリピ人への手紙 1:6）。

5. 種まきのたとえにおいて（ルカによる福音書 8:5）、種が道ばたに落ちて、空の鳥に食べられてしまったということは何を意味しているのでしょうか？

ルカによる福音書 8:5

聖書には次のように説明されています「種は神の言である。道ばたに落ちたのは、聞いたのち、信じることも救われることもないように、悪魔によってその心から御言が奪い取られる人たちのことである。」ルカによる福音書 8:11,12。聖書から新しい光を見出し、聖霊によってそれに従うべきであるということを示されたならば、ただちに従うべきであることをイエスは教えておられます。そうでなければ、悪魔は、私たちの心から真理を取り去る機会を得てしまうからです。

6. マタイによる福音書 7:21-23 で、主は人々に、「あなたがたを全く知らない」と言われたことが書かれています。どうしてそのようなことが言えるのでしょうか？神はすべての人、すべての事柄を知っておられると思っていました。

マタイによる福音書 7:21

神がこの聖句で言われた「知る」という意味は、人を個人的な友として知ることです。私たちが神と日々交わり、喜んで神に従い、地上の友と分かち合うように私たちの喜び悲しみを自由に主に語りときに神を知るようになるのです。イエスはまた次のようにも言われています「あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である」ヨハネによる福音書 15:14。マタイによる福音書 7 章に書かれている人々は聖霊を拒んでしまいました。彼らは罪を犯していても救われる、行いによって救われるという教えを受け入れてしまいました - この教えはどちらもイエスを必要としません。彼らはイエスを知るために時間を割くこともなく、自力に頼る人々なのです。それゆえに、イエスは、彼らを真の個人的な友として知ることがなかったと説明されているのです。

7. エペソ人への手紙 4:30 を説明していただけますか？

エペソ人への手紙 4:30

この聖句には「神の聖霊を悲しませてはいけない。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。」と記されています。パウロはこの聖句において、聖霊は人格を持つお方として明確に示唆しています。なぜなら人格を持つ者がだけが悲しむからです。さらに重要なことは、私たちが聖霊の愛に満ちた哀願を拒否するときに、聖霊は悲しみながら去っていくことをはっきりと主張しています。結婚前の男女間において、一方が他方の求愛を何度も拒み続けることで二人の関係が永久に終わってしまうように、私たちが聖霊の愛の懇願を拒み続けるならば、聖霊との結びつきも永久に終わってしまいます。

クイズ

1. どのような罪であっても、神がおゆるしになることができない罪になる可能性がある。(1)

- はい
 いいえ

2. 聖霊に対する罪とは (1)

- 殺人。
 神をのろう。
 聖霊を拒む。

3. 聖霊は、悲しみながら罪人から去らなければならないときがある、なぜなら (1)

- 聖霊はほかの働きがあるため。
 聖霊は罪人の悪い態度に義憤を持つため。
 神が聖霊にほかの働きをするように言われるため。
 罪人が聖霊の懇願に対して耳を閉じてしまうため。

4. 知りつつ罪を犯し続けることで、聖霊の火が「消えて」しまうことがあります。(1)

- はい
 いいえ

5. どのような罪、冒涇であってもゆるされる、もし私が (1)

- それに関して十分祈るなら。
 真実な心でキリストに告白すれば。
 幾日か断食するなら。
 忠実に伝道や証をするなら。

6. 聖霊の働きなしには、だれも罪を悲しむ事も、改心する事もできません。(1)

- 正しい
 まちがい

7. 救いの確証は時に偽ものでありえます。確かに救われていると確信している人々も実際には失われます。(1)

- はい
 いいえ

8. ヨハネによる福音書 16:8,13 で述べられている聖霊の働きを下記から選んでください。(2)

- 歌い方を教える。
 預言の賜物を与える。
 楽しくさせる。
 罪を悟らせる。
 真理に導く。

9. 聖霊が新しい光を示し、私の罪を指摘した際に、すべきことは (1)

- それに関して牧師に尋ねる。
 心霊術者に尋ねる。
 神にしろしを求めらる。
 即座に聖霊の導きに従う。
 金貨を投げて決める。

10. ダビデは、なぜ、自分から聖霊を取り去らないで下さいと嘆願したのですか？(1)

- 聖霊が彼のハーブをひくのを助けたから。
 聖霊が彼の命を奪い取るのではないかと恐れたので。
 聖霊が彼から去れば、彼は失われた者となるのを知っていたので。

11. マタイによる福音書 7:21-23 で、人が奇跡を行い、悪霊を追い出し、イエスの名によって預言をし、キリストを主と唱える事などは、裁きの日には十分で

はないと書かれています。そのほかの重要不可欠なものは何であるとイエスは言っておられますか？(1)

- 多くの証と伝道の働きをする。
- 公の場で再々祈ること。
- 再々断食をする。
- 規則正しく教会に出席する。
- 天の父なる神の御心を行う。

12. テサロニケ人への第二の手紙 2:10-12 によると、真理を受け入れるのを拒む人々はどうなりますか？(1)

- それでも最終的に救われる。
- 神は彼らが考え直す事を願う。
- 神は彼らに惑わす力を送られ、偽りを真理であると信じてしまう。

13. 裁きのときに、「私はあなたがたを全く知らない」と主に言われてしまう人々がいますが、この言葉はどのような意味なのでしょう？(1)

- 神はその人がだれだか知らない。
- 顔は見覚えがあるが、名前を忘れている。
- その人が、神を個人的な友として神を知るために時間をとらなかった。

14. 新約聖書においてイエスは、しるしを求めることに対して反対しておられます。(1)

- はい
- いいえ

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。

個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.